



校長室だより

第 3 4 号

令和3年11月22日(月)

大崎市立沼部小学校

校長 吉田 浩之

避難訓練（火災想定）

19日（金）2校時に火災想定での避難訓練を実施しました。避難訓練の目的は3つあります。1つは子供たちの目標で、「防災意識を高め、非常時には落ち着いて素早く安全に避難できるようにする。また、正しい避難経路を知る。」です。2つ目、3つ目は教員の目標で、「児童を迅速、安全、確実に避難誘導する方法を確認する。」「各職員の役割分担や迅速で適切な対処方法を確認し、危機対応の意識を高める。」です。

家庭科室から出火したという想定で訓練を行いました。事前に、各担任から避難訓練の大切さを説明してもらいました。避難するにあたって、大事な約束事も指導してもらいました。大事な約束とは「お・は・し・も」です。①さない、②しらない、③しゃべらない、④どらない、の頭文字をとっての合言葉です。



避難後、子供たちには次のように話しました。

「避難訓練は命を守るための大事な勉強です。だから、訓練は0点か100点しかありません。100点の学年もありましたが、お話をしたり、笑っていたりした学年もありました。だから、全体では0点です。命を守る大事なことなのに、おしゃべりしたり、笑ったりということはあり得ない。学校で、災害が起きたとき、先生方は君たちのことを必ず守ります。必ずです。災害は学校にいるときだけに起こるとは限らない。寝ているときかもしれない。自分の命は自分で守る。そのためにどうすればいいか常に考えてほしい。」と。

その後、各教室でWEB資料を使い、火災について学習しました。

避難指示が出てから3分以内に避難完了できているところはすばらしいし、先生方の指示にしたがって避難行動ができたところもよかったですと思います。それでも、少し真剣味にかけていたところが残念でした。

訓練って大事ななと感じたことがありました。宮城県図書館に勤務していた時の話です。小学校4・5年生位の女の子とそのおばあさんが来館していました。震度4の少し大きめの地震が発生したのです。大人は、ただ上を見上げておどおどするばかりでした。その女の子は、とっさにおばあさんの腕をつかみ、一緒にテーブルの下にもぐりました。職員は「書架から離れてください。」と来館者に声を掛けましたが、それよりも早く、その女の子はテーブルの下にもぐったのです。これは学校で避難訓練をしていたから、とっさの行動ができたのだらうと思いました。消防署の方から、「訓練を重ねることで、考えるより先に行動できるようになる。」という話をいただいたことがあります。参考にしたいと思います。

災害はいつ起こるか分かりません。自分の命は自分で守るために、御家庭におかれましても、災害時にどのように行動するか、子供たちと一緒に考えていただくと、子供たちの防災意識も高まると思います。

火災の原因で多いのが、子供の火遊びだそうです。空気が乾燥してきていますので、一人一人が火の用心に努めたいものですね。